



ましきな

校是：向学 誠実 開拓
与論町立那間小学校
TEL 0997-97-2278
FAX 0997-97-4950



「5月の風」

那間小学校 校長 有留雄一郎

自律・・・他からの支配・制約などを受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動すること。

自立・・・他への従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けずに、存在すること

4月14日にPTA総会が開催された。新しい役員が承認され、そして新PTA会長のあいさつの中で「たくましい那間小の子供、自立する心を育むために歩いて登校させましょう。」という呼びかけがなされた。会長の発言の影響は大きい。翌日より車登校していた子供たちが歩いて登校する姿が見られるようになった。30分以上かけて登校する児童もいるように思う。不審者や交通事故など様々な社会問題や子供の安全を考慮して子供を自家用車で送られ登校する風景はうちだけではない。送り迎えしてもらうことが子供たちに当たり前になってきている。「子供の気力や体力は付くのであろうか?」「感謝の気持ちは育つのだろうか?」振り返ると、我々大人もついそこまで短い距離でも車を使っている。私たち大人も見直す必要があるのかもしれない。



朝の登校風景

昔、急遽6月から担任を任された学級は、保護者の送迎が多かったように記憶している。臨時のPTAが開かれ、私は保護者へ「一つだけお願いします。歩かせて登校させてください。」と懇願した。時間はかかったが、その後見違えるように子供たちに変化が現れてきた。学級でのいきかいが減り、笑顔が増え、話を聞くことができるようになっていった。**自律心**が芽生えてきた。そして自分たちで物事を判断できるようになっていく。そして学校の中心となり、学校を盛り上げていく。まさに**自立の始まり**だったように思う。「たかが歩いて登校 されど歩いて登校」。毎日の積み重ねは大きく、知らず知らずのうちに体力もつき、大きく成長していく。彼らから教わることの方が多かったように思う。



さて話は変わるが、5月連休前に6年生の児童から「サッカーの試合があるので見に来てください。」と声をかけてもらった。聞くと和泊小学校と島内の3校の小学校のサッカー少年団が交流を行うという。そのとき児童と約束を交わした。「声で負けないこと。君がまず大きな声で」と。5月3日の午後、早速出かけた。一試合目は和泊の5年生チームとの試合。那間小のチームは小柄。一方和泊はそこそこの体格。技術も体力も和泊が格上。攻め込まれ、ことごとくシュートを打たれる。しかし、よく耐えている。お互いにカバーをし合いながらよく声が出ている。そして守りから攻撃へ繋げている。去年は見られなかったシーン。結果は「0対0」。彼らの表情が生き生きとしていた。

先日WBCを振り返る番組があった。侍JAPANのメンバーは試合前に円陣を組み、今日の試合にどう臨むか声を掛け合う。決勝アメリカ戦での大谷選手の第一声は「憧れるのをやめましょう。僕らは超えるためにトップになるためにここに来たので・・・」だった。そして全員で「さあ、いこう!」と全員で声を掛け合う。那間の子らも試合前のあいさつで大きな声が出ていた。翌日の試合はいつも負けていたチームに勝ったと聞いた。勝ち負けではないが彼らは確実に進歩している。自信に繋がっている。日頃から指導者のコーチの方々が、練習中に率先して大きな声であいさつをしてくださる。その姿は子供たちにも伝わっている。**声は自分をチームを奮い立たせるアイテム**、そして**チームをまとめるアイテム**。約束を守ってチームをまとめた6年生に拍手を送りたい。そして、連休前に試合を見に来てほしいという意味が分かった気がしたGWだった。

5月

- 15日(月) 水泳学習前健康相談(～27日)
- 16日(火) 教育相談(～18日)
- 19日(金) 眼科検診
- 21日(日) 通学路安全点検
- 23日(火) 3小学校修学旅行(～25日)
- 26日(金) 一日遠足(1～4年)
- 6年休養措置日



6月

- 7日(水) 食育の日・食育指導
- 8日(木) 芸術鑑賞
- 9日(金) 学校評議員会
- 10日(土) 土曜授業 引き渡し訓練
第1回学校保健委員会
- 15日(木) 第1回理事会
- 16日(金) ユンヌフトゥバの学習
- 29日(木) 遠泳大会・お弁当の日

